

すべての難病患者に安心を！

難病医療費助成制度を考えるフォーラム

難病法の成立により、指定難病の医療費助成が社会保障給付に明確に位置付けられ、対象疾患が拡大し、今後も対象が拡大されていく道筋が準備されました。しかしながら、指定難病であっても、病状の程度をみる「重症度分類」によって医療費助成を受けられる人と受けられない人にふるい分けられ、以前は対象だった患者さんのうち、少なくない人たちが助成対象外になる事態が発生しました。患者さんからは、「症状の波が大きいことが考慮されていない」「服薬して症状の安定化をはかっているにもかかわらず、その状態で重症度を判定される」などの声が寄せられています。難病は発病のメカニズムが解明されておらず、根治治療が確立していません。しかし、特別な病気ではありません。フォーラムでは、すべての難病患者が安心して医療にかかれるようにするにはどうしたらいいのかを考えたいと思います。ぜひご参加下さい。



小泉 昭夫氏

1952年7月、兵庫県尼崎市生まれ。2000年から18年まで京都大学大学院・医学研究科社会健康医学専攻系教授。退官後、京都保健会社会健康医学福祉研究所所長に就任、現在に至る。専門は、環境保健および産業保健。福島第一原発後の健康問題を追跡する一方、もやもや病や小児四肢疼痛症などの難病における環境と遺伝要因の相互作用に注目し研究している。

1. 健康講座「実は難病は身近な病気？ 子どもの難病を考える」

小泉昭夫氏（京都大学名誉教授・社会健康医学福祉研究所所長）

2. 基調報告—難病医療費助成制度の課題

3. フロアからの報告

4. 議員からの発言「難病医療費助成制度をどう考えるか」

11月30日(土)

14:00~16:30

参加無料
要申込

京都府保険医協会会議室

京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル インターワンプレイス烏丸6階

地下鉄四条駅、烏丸御池駅、阪急烏丸駅から徒歩3分

駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関でお出でください。

主催 NPO 法人京都難病連 京都府保険医協会

連絡先 京都府保険医協会
(電話 075-212-8877)

